

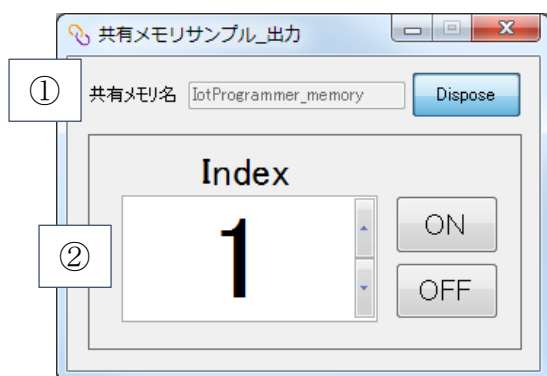
【Iot-Programmer 共有メモリ機能サンプルソフト】

以下のソフトが同梱されています。

■SharedMemory_Send.exe

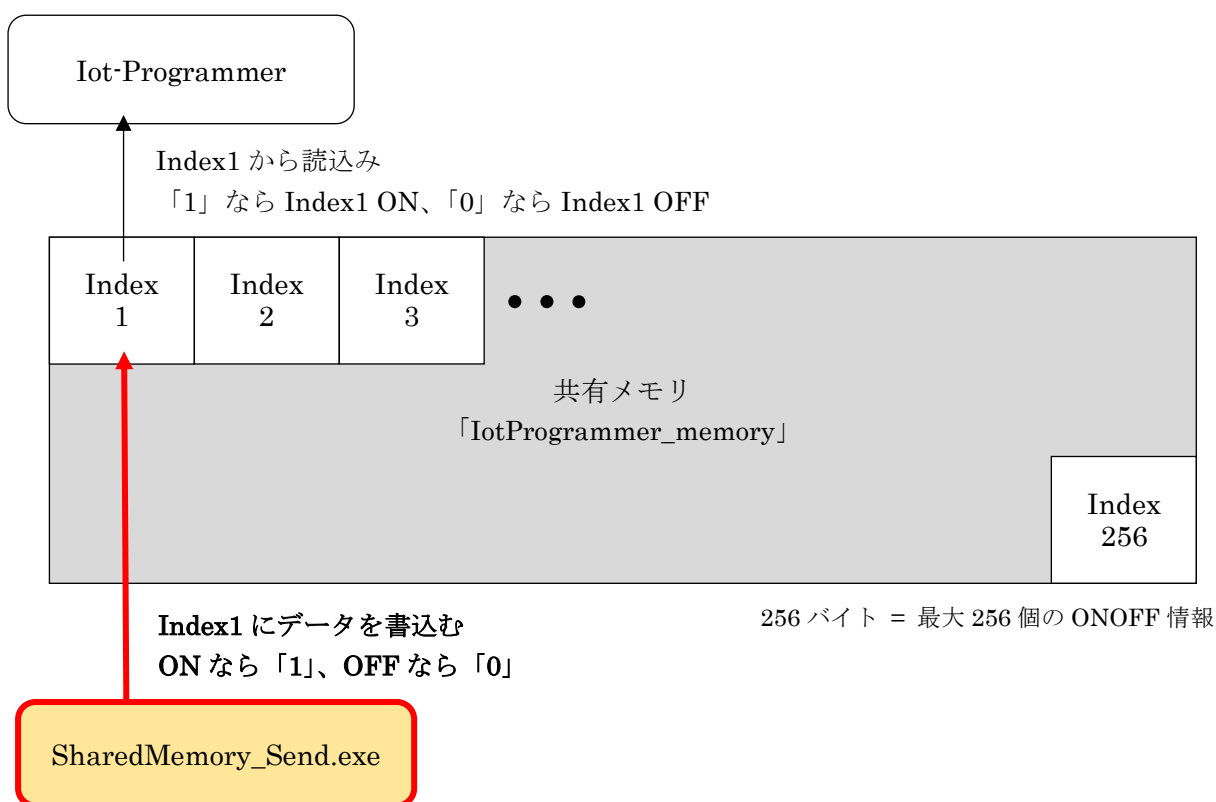
共有メモリに値を保存することができるソフトです。

ソフトで書き込んだ値を Iot-Programmer が読み込むことで、コントローラへの出力が可能です。



- ① 共有メモリ名
共有メモリの名前を指定します。
「Create or Open」ボタンでメモリを生成します。
既に同じ名前のメモリが生成されている場合はそのメモリを開きます。
「Dispose」ボタンでメモリを解放します。
- ② Index 出力
Index1～Index256 までを選択し、ON/OFF することができます。ON すると指定した Index に 1 が入り、OFF すると 0 が入ります。

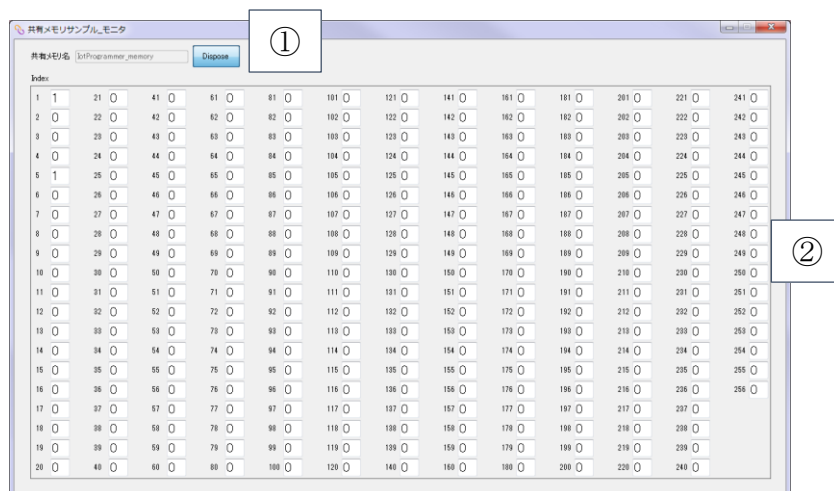
・共有メモリの使用例



■SharedMemory_Monitor.exe

共有メモリの値をモニタすることができるソフトです。

「SharedMemory_Send.exe」や Iot-Programmer がメモリに書き込んだ情報をモニタできます。



① 共有メモリ名

共有メモリの名前を指定します。

「Create or Open」ボタンでメモリを生成します。既に同じ名前のメモリが生成されている場合はそのメモリを開きます。

「Dispose」ボタンでメモリを解放します。

② Index モニタ

Index1～Index256 の状態をモニタします。それぞれの値が表示されます。

・共有メモリの使用例

